

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
21005	(1) 年) X-21-B-1-210005 (2) 年以上) X-21-A-1-210004						
授業科目	担当教員						
日本経渉論	安藤 潤	2	後期				
				【1年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択	1年
				【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	1年
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科	基礎	選択	1年
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	基礎	選択	1年
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	基礎	選択	1年
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	基礎	選択	1年

授業目的

この授業の目的は、情報文化学部、経営情報学部、国際学部のディプロマ・ポリシーの一部と整合性を持たせるべく、現代日本経済が抱える課題を理論と実証から考えることである。

各回毎の授業内容

第1回

【授】イントロダクション：現代日本経済の問題点
【前・後】【予・復習に4時間】この科目的レポート用教科書、参考書を読んでおくことが望ましい。

第2回

【授】日本の少子高齢化①経済理論と少子化現象
【前・後】【予・復習に4時間】参考書[1]第8章8-1、8-2 a, b.

第3回

【授】日本の少子高齢化②経済理論と少子化現象
【前・後】【予・復習に4時間】参考書[1]第8章8-1、8-2 a, b.

第4回

【授】日本の労働市場①女性労働1
【前・後】【予・復習に4時間】参考書[1]第5章5-2。主に男女間の経済格差について調べておくこと。

第5回

【授】日本の労働市場②女性労働2
【前・後】【予・復習に4時間】女性の労働供給を増やすにはどうすればよいかを考えておくこと。また教科書各章の記述統計・度数分布表から日本の共稼ぎ夫婦の家事・育児分担がどうなっているかを調べておくこと。

第6回

【授】日本の労働市場③家電製品のパラドクス
【前・後】【予・復習に4時間】なぜ日本の夫婦では妻に家事労働が集中するのかを考えておくこと。また参考書[2]の序章、第1章、第2章を読んでおくことが望ましい。

第7回

【授】日本の労働市場④アイデンティティ経済学入門
【前・後】【予・復習に4時間】女性労働と家事労働についてアイデンティティ経済学から考える。まずはアイデンティティ経済学とはどのような経済学かを知っておくこと。教科書第1章1.および2を読んでおくことが望ましい。

第8回

【授】日本の労働市場⑤アイデンティティ経済学で考える女性労働問題
【前・後】【予・復習に4時間】夫や妻の家事労働に関する3つの仮説について考える。教科書第1章2.2.3、第2章2.および第3章2.を読んでおくことが望ましい。ジェンダー・ディスプレイとその懐疑論について日本と欧米の違いについて考える。実証分析の結果についても紹介する。

第9回

【授】日本の労働市場⑥経済理論と育児支援策
【前・後】【予・復習に4時間】参考書[3]第3章を読んでおくことが望ましい。

第10回

【授】日本の社会保障①医療保険
【前・後】【予・復習に4時間】厚生労働省、社会保険庁のウェブサイトなどで日本の社会保障制度、社会保険の仕組みなどを検索し、学習しておくこと。授業後は授業で学ぶ無保険者や保険料未納問題について新聞記事検索で調べてまとめておくこと。

第11回

【授】日本の社会保障②公的年金保険
【前・後】【予・復習に4時間】年金制度についてよく調べておくこと。なぜ少子化を解消しないといけないと政府は主張しているのかをまとめておくこと。

第12回

【授】日本の社会保障③公的介護保険
【前・後】【予・復習に4時間】介護保険制度についてよく調べておくこと。授業後は介護市場の問題点についてまとめておくこと。

第13回

【授】日本の防衛費①戦後の歩み
【前・後】【予・復習に4時間】日本経済史の書籍を読んで戦時中と戦後の日本経済がどのようにであったかを学んでおくこと。

第14回

【授】日本の防衛費②日本の経済成長と防衛負担
【前・後】【予・復習に4時間】参考図書[4]で防衛支出が日本経済にどんな影響を与えてきたか学んでおくこと。

第15回

【授】まとめ
【前・後】【予・復習に4時間】配布済みプリントでこれまでの授業内容を振り返っておくこと。

第16回

【授】定期試験
【前・後】【予・復習に4時間】配布済みプリント、教科書、参考書でよく勉強して臨むこと。

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							50
小テスト・授業内レポート							20
宿題・授業外レポート							30
授業態度・授業への参加							
成果発表（口頭・実技）							
演習							
その他							

定期試験を50%、不定期に授業の中でとるコメントカードの提出回数・内容を20%、教科書を使ったレポートを30%とし、成績判定を行う。成績は本学の基準に従う。合格者数、平均点などはポータルや掲示にて公表し、講評を加える。

教科書参考書

教科書

安藤潤『アイデンティティ経済学と共稼ぎ夫婦の家事労働行動—理論・実証・政策—』文眞堂、2017年（2,400円+税）

参考書

- [1]長谷川啓之 編『経済政策の理論と現実』学文社、2009年（2,500円+税）
- [2]品田知美『家事と家族の日常生活 主婦はなぜ暇にならなかったのか』学文社、2007年。
- [3]安藤ほか『少子・高齢化と日本経済』文眞堂、2014年（2,500円+税）
- [4]安藤潤『ポスト冷戦期における日米防衛支出の実証分析』文眞堂、2018年3月発行予定。

受講に当たっての留意事項

教科書は授業とレポートで使用するので必ず購入すること。ただし教科書はすべての回の授業で使用するわけではなく、一部の授業内容は参考書を用いる。参考書の購入は義務付けない。1・年後期配当科目ということを考えし、できるだけ平易に講義し、ある程度は用語の説明を行うが、基本的には経済用語辞典や指定図書などを用いて自分で調べ、学ぶこと。どの授業でも同じだが、無遅刻・全出席が大原則である。スマートフォン、携帯電話の類は必ず電源を切ってカバンなどにしまい、机の上には出さないこと。コメントカードは感想文を書く場ではない。ましてや学籍番号と氏名だけを記入する出席カードでもない。成績評価に際し、20%を与えていることからもわかるように答案の一部であるとの認識を持つこと。

学習到達目標

少子高齢化から発生すると考えられる現代日本経済が抱える様々な問題を理解し、いずれ自分がそれを支える一員となる自覚を持ち、残りの学生生活を過ごすにあたり、もって臨むべき問題意識を1つでも多く持っているようになること。また日本の安全保障を取り巻く環境変化と今後の日本の防衛負担について自分の見解を述べられるようになること。

JABEE

【授】授業内容【前・後】事前・事後学習